



授業参観 お忙しいところありがとうございました

11月17日（金）授業参観を実施しました。あいにくの雨で、校庭に自家用車を止めていただくことも大変な中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき感謝申し上げます。また、学級懇談会や学年レクに多数参加いただき、重ねて感謝申し上げます。

各学級で、子ども達の学習に臨む姿をご覧いただきました。4月からの半年ほど、一人一人の成長した姿を実感していただけたのではないのでしょうか。知識として学習したことももちろんですが、話す姿、聞く姿、友達とかかわる姿のどれをとっても成長を感じます。子ども達が学級の友達とかかわる中で、他の学年とかかわる中で、行事への取組を通して、地域の皆様や職員とのかかわりの中で身に付けてきたことだと思います。

ただ、まだまだ成長過程にある子ども達です。保護者の皆様から私たち教職員からも、身に付けてほしい力があると思います。その力が身につく、将来にわたって自分らしく力を伸ばすことができるよう、学習活動やそのほかの活動の在り方を工夫していきたいと考えております。今後ともご支援、ご協力よろしくお願いたします。



【授業参観の様子】

第2回学校運営協議会

授業参観と並行して、今年度2回目の学校運営協議会（コミュニティスクール）の話し合いを行いました。今回は実際に授業の様子をご覧いただき、これまでの活動を振り返りながら、委員の皆様からご意見を頂戴しました。以下に話し合い（熟議）の主な内容をお知らせいたします。

1 学期学校評価について

- 昨年度課題となっていた運動機会について
外で遊ぶ子供たちが増えていること、業間運動に取り組んでいること、比較的徒歩での通学があることなど。
- 冬場の体力づくりについて
クロスカントリースキーをやっている学校など市内でも環境の違いがあるが、業間運動等を工夫していくこと。

相撲フェスティバルについて

- 今年度の成果と今後に向けて
子ども達の「楽しかった」「やってよかった」という反響が大きかったし、保護者の協力も大きかった。次年度以降も教育的価値と地域の伝統を合わせた形で継続したい。

授業参観の様子から

- 現在の学校についての理解が深まった。落ち着いて学習していた。
お忙しいところ長時間にわたり熟議をいただいた委員の皆様、ありがとうございました。

ぐんぐんタイム

家庭学習から学ぶ

家庭学習強化週間（11月19日～11月23日）を受けて、ぐんぐんタイムに漢字・計算のテストに挑戦しました。2学期に学習した漢字と計算問題で、目標を90点に設定しています。目標を達成できなかった場合には、再チャレンジも実施しました。お子さんの家庭学習強化週間の取組の様子はいかがでしたでしょうか。お子さんに日常の家庭学習と少しでも違った面が見えていれば、うれしく思います。宿題はどうしても「しなければいけないもの」という色合いが強くなります。学習したことをその日のうちに繰り返すことで、定着が図られやすいことから宿題に取り組んでいます。今回は目標に向かって自分なりに取り組むことに大きな意義があります。目標をもって計画的に取り組むことが成果につながりやすい、そのことに気付かせたいと考えています。



おめでとう！

コンクール等で表彰された子ども達を紹介いたします。おめでとうございます！

市社会福祉協議会標語

健康の部 優秀賞 4年 由奈さん
優良賞 6年 奈子さん
福祉の部 優秀賞 3年 凜来さん
優良賞 1年 結愛さん



市読書感想文コンクール

特選 2年 久瑠実さん
3年 楓奈さん
4年 歩由さん
入選 5年 優美音さん
佳作 1年 紬生さん
6年 典慈さん

ありがとう！

感謝を込めて期末清掃

11月27日から、期末清掃がスタートしました。今年私たちの学校生活を支えてくれた、平舘小学校の校舎です。各学年の教室だけでなく、特別教室やトイレなど煤払いも含めた清掃活動をしています。縦割り班の班長や高学年の指示に従い、普段はあまり手をかけられないところも、1年の感謝を込めて掃除をしています。学校をきれいにしながら、それぞれの役割を果たすことの大切さを学ぶ機会でもあります。

各ご家庭でもこれから年末の大掃除でしょうか。是非とも、子ども達にも役割を作ってくださいとありがたいです。そして、がんばったところをほめていただけますと幸いです。



【期末清掃の様子】

ある日の出来事から

◇ 2年生が、九九の学習をしています。何度も練習し、通称「ばら九九」の合格を判定するのが、私です。休み時間に校長室まで子ども達が来た時のことです。やる気満々で大勢やって来たのですが、あいにく途中でチャイムが鳴ってしまいました。これからやって合格したいはずなのに、きちんと時間を守って「また来ます。」なんと素晴らしいことでしょうか。やりたくて仕方ないときでも、守るべきことは守るという大切なことが、身につけている子ども達でした。

